

はじめに

現在、我が国では、急速な少子高齢化の進展、地域経済の縮小、地域コミュニティの衰退等の諸課題に直面する中、人生 100 年時代に向けて、すべての世代に活躍の場があり、元気で安心して暮らせる社会づくりを進めることが求められています。人生をより豊かで充実したものにするためには、誰もがいつでもどこでも学習することができ、学習成果を生かすことのできる生涯学習社会の実現は不可欠です。その推進に「社会教育」の果たす役割は大きく、社会教育活動の中心的な施設である公民館はさらに重要性が増してきています。

昨年 12 月の中央教育審議会答申「人口減少時代の新しい地域づくりに向けた社会教育の振興方策について」では、「社会教育」を基盤とした、人づくり・つながりづくり・地域づくりが一層重要であるとされ、特に、公民館については、これまでの地域の学習拠点としての機能や役割に加え、地域コミュニティの維持と持続的な発展を推進するセンター的役割、地域の防災拠点の役割、地域学校協働活動の拠点としての役割などを強化することや若年層の参画等が求められています。また、公民館等社会教育施設の所管の在り方については、首長が所管できる特例の制度が設けられ、去る 6 月に関連法の改正がなされました。

折しも今年には公民館の法的根拠が位置付けられた社会教育法制定 70 周年であります。今後の公民館活動のさらなる発展に期するため、岡山県公民館連合会では県内公民館の実態を把握し、より効果的に推進する基礎資料とするために、このたび公民館実態調査を実施しました。この調査結果が、公民館活動をもとに、住民参画によるまちづくり、地域の活性化の一助になることを願っています。

最後になりましたが、御多用中にもかかわらず調査の実施にあたり御協力をいただきました県内各公民館関係者の皆様、調査結果の御考察を賜りました岡山大学大学院教授 熊谷慎之輔様に心から御礼申し上げます。

令和元年 10 月

岡山県公民館連合会

会長 村木 生久

目次

I	調査概要	1
II	公民館等の現状について	
1	公民館の現状	2
2	公民館職員の現状	4
3	地域住民の参加・参画状況	7
4	公民館利用者・利用団体の現状	9
5	学習要求の把握状況	12
6	事業の自己点検及び評価の実施状況	14
7	防災・減災への対策	15
III	公民館事業等の現状について	
1	公民館事業の現状	20
2	事業連携の現状	21
3	現代的課題と地域課題に関する講座	25
IV	自由記述	29
V	考察	33
	調査用紙	34
	県内公民館（本館）一覧	37